



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,897	1.0	688	△3.1	758	△2.6	533	△1.6
2019年3月期第2四半期	10,794	3.9	710	3.7	778	3.5	541	8.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 686百万円 (48.7%) 2019年3月期第2四半期 461百万円 (△64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	120.16	-
2019年3月期第2四半期	122.06	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	25,539	16,731	63.3	3,639.11
2019年3月期	26,222	16,143	59.5	3,512.81

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,157百万円 2019年3月期 15,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	17.00	-	21.00	38.00
2020年3月期	-	19.00			
2020年3月期 (予想)			-	19.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	0.8	1,500	△1.5	1,630	△2.3	1,120	△3.0	252.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,450,000株	2019年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	9,961株	2019年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,440,039株	2019年3月期2Q	4,440,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における我が国経済は、底堅く推移しましたが、足踏み感が続く情勢でした。

4～6月期の実質GDPは3四半期連続のプラス成長でした。中国経済減速の影響がアジア諸国や世界に波及して、一部に底入れはあったものの輸出の低調が続いたことを背景に、鉱工業生産は一進一退となりました。しかし、良好な雇用情勢や所得環境の改善により、個人消費は緩やかな回復が持続、内需は堅調に推移しました。

企業収益は、内需型、非製造業を中心として高水準を維持しましたが、4～6月期は経常利益が2四半期ぶりに減少し、9月の業況判断DIは全規模全産業で6月時点より低下、先行き判断DIも低下し、慎重な見方が広がっています。

企業の設備投資は、構造的要因から、省力化、維持更新とソフトウェア投資の需要が強く、増加基調が続きますが、短期的には一服感が強まる可能性があります。

一方で、雇用所得環境は、ペースは鈍化したものの、改善が続き、個人消費は増加が続きました。10月に消費税率引上げが実施されましたが、負担増に対する様々な緩和策で消費の大幅な落ち込みは避けられる様相です。

今後とも、世界景気が全般的に勢いに欠ける中、輸出の力強い回復は予想しにくく、引き続き内需に景気の緩やかな回復を牽引する期待がかかります。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,897百万円で前年同期に比して102百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益688百万円（前年同期比22百万円の減益）、経常利益758百万円（同20百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益533百万円（同8百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期を2.0%下回りました。米麦袋が毎年の漸減に加えて一部出荷が前年度3月に先取りされたこともあって大きく減少、合成樹脂、塩などの用途も減少しました。その他食品、飼料、セメントなどの用途は増加しました。昨夏値上がりした重包装袋の原紙価格に、大きな変動はありませんでした。

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比△3.6%で、業界の減少幅を上回りました。米麦袋は業界の幅ほどには減りませんでした。砂糖・甘味、合成樹脂、化学品用途が減少し、業界内シェアを下げる結果となりました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、米麦袋は減少しましたが、冷凍魚分野の持ち直しや茶袋の増加があり、全体で前年同期比△0.8%の微減でとどめました。タイ昭和パックス株の当第2四半期連結累計期間（1～6月）は、中国経済減速の影響を被った顧客の生産量が落ちこんだため、毎月の売上数量の前年割れが続き、前年同期比10.8%の大幅減少となりました。山陰製袋工業㈱の当第2四半期連結累計期間（1～6月）の売上数量は、米麦袋の先取り出荷の関係で1～3月は前年同期比増加、4～6月は減少となり、全体では+1.3%の微増でした。

原紙値上がり分の製品価格への転嫁を進めた効果があり、当セグメントの第2四半期連結累計期間売上高は6,920百万円で、前年同期に対し1.0%の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期と比べて産業用は減少、農業用は増加しました。主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は、1～3月期に昨夏の上昇分を値戻しし、その後にポリスチレン樹脂は若干値上がりしました。

当社の売上数量は、産業用、農業用ともに増加し、合計で前年同期比+4.9%でした。産業用で広幅ポリエチレンフィルム、ポリスチレンフィルム「エスクレア」、農業用でハウス用農サクビフィルムなどが増加しました。当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,808百万円で、前年同期に対して4.9%の増収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品、海外生産品合計の前年同期比で、飼料、食品用途が増加、化学工業品、窯業土石品用途が減少しました。総出荷量では前年同期から微増となりました。海外からの輸入量の全体もやや増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比で減少し△3.6%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバック「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は、いずれも前年同期から数量を減らしました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,089百万円で、前年同期に対して3.3%の減収でした。

○不動産賃貸

賃貸契約内容に若干の変動があつて、当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期から2.3%減の129百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は25,539百万円で、前連結会計年度末に比べて682百万円減少しました。主な減少要因は現金及び預金208百万円、受取手形及び売掛金455百万円です。

(負債)

負債合計は8,807百万円で、前連結会計年度末に比べて1,271百万円減少しました。主な減少要因は支払手形及び買掛金505百万円、電子記録債務365百万円および短期借入金436百万円です。

(純資産)

純資産合計は16,731百万円で、前連結会計年度末に比べて588百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益533百万円、主な減少要因は剰余金の配当93百万円です。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて212百万円減少して6,430百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は518百万円（前年同期比745百万円の収入減）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益で747百万円、減価償却費で260百万円、売上債権の減少で534百万円、仕入債務の減少で△853百万円ならびに法人税等の支払で△233百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は219百万円（同95百万円の支出増）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出で200百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は537百万円（同50百万円の支出減）です。主な内訳は短期・長期借入金の返済で439百万円、配当金の支払による支出で93百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べて増収でしたが、営業利益、経常利益は減少となりました。これからの景気動向には見通しにくいところがあり、その変動次第で当社グループの損益も大きく変わるリスクがありますが、当連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）通期の業績見通しについては、当初の予想（2019年5月13日発表）を変更せず、連結売上高22,000百万円、連結経常利益1,630百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,023,869	6,814,923
受取手形及び売掛金	6,762,018	6,306,249
電子記録債権	497,366	431,765
商品及び製品	1,080,369	1,137,612
仕掛品	129,625	113,841
原材料及び貯蔵品	1,054,753	990,712
その他	261,133	295,169
貸倒引当金	△11,376	△10,915
流動資産合計	16,797,758	16,079,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,772,589	7,842,756
減価償却累計額	△5,723,403	△5,821,298
建物及び構築物 (純額)	2,049,186	2,021,457
機械装置及び運搬具	9,949,253	10,051,150
減価償却累計額	△8,702,638	△8,876,892
機械装置及び運搬具 (純額)	1,246,615	1,174,258
土地	880,730	885,112
建設仮勘定	15,275	33,280
その他	824,692	868,735
減価償却累計額	△747,506	△765,238
その他 (純額)	77,185	103,497
有形固定資産合計	4,268,993	4,217,606
無形固定資産		
ソフトウェア	9,835	14,864
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	19,065	24,094
投資その他の資産		
投資有価証券	4,532,757	4,617,530
退職給付に係る資産	457,915	461,794
繰延税金資産	47,588	47,424
その他	107,158	100,604
貸倒引当金	△9,110	△9,110
投資その他の資産合計	5,136,310	5,218,242
固定資産合計	9,424,369	9,459,944
資産合計	26,222,128	25,539,303

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,917,073	3,411,765
電子記録債務	1,660,072	1,294,268
短期借入金	1,531,300	1,095,000
未払法人税等	274,966	229,286
賞与引当金	377,858	379,781
役員賞与引当金	19,440	19,720
設備関係支払手形	2,475	21,496
営業外電子記録債務	31,013	33,121
その他	664,573	671,089
流動負債合計	8,478,773	7,155,529
固定負債		
長期借入金	99,000	99,000
繰延税金負債	813,547	839,158
役員退職慰労引当金	104,684	115,241
環境対策引当金	5,119	-
退職給付に係る負債	397,679	407,443
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	173,063	171,395
その他	-	12,699
固定負債合計	1,600,089	1,651,933
負債合計	10,078,862	8,807,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	12,762,802	13,203,079
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	13,683,708	14,123,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,770,946	1,832,102
為替換算調整勘定	165,055	228,107
退職給付に係る調整累計額	△22,694	△26,390
その他の包括利益累計額合計	1,913,307	2,033,819
非支配株主持分	546,249	574,036
純資産合計	16,143,265	16,731,840
負債純資産合計	26,222,128	25,539,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,794,588	10,897,408
売上原価	8,773,418	8,881,940
売上総利益	2,021,169	2,015,467
販売費及び一般管理費	1,310,495	1,326,938
営業利益	710,674	688,529
営業外収益		
受取利息	2,325	2,676
受取配当金	58,714	64,478
為替差益	7,140	801
その他	9,021	8,157
営業外収益合計	77,202	76,114
営業外費用		
支払利息	7,323	5,163
その他	1,592	593
営業外費用合計	8,915	5,756
経常利益	778,961	758,887
特別損失		
固定資産除却損	346	204
投資有価証券評価損	-	11,133
特別損失合計	346	11,337
税金等調整前四半期純利益	778,614	747,549
法人税、住民税及び事業税	205,845	187,802
法人税等調整額	328	1,121
法人税等合計	206,174	188,924
四半期純利益	572,439	558,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,469	25,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	541,969	533,517

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	572,439	558,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,957	61,199
為替換算調整勘定	△80,659	70,057
退職給付に係る調整額	571	△3,695
その他の包括利益合計	△111,045	127,561
四半期包括利益	461,393	686,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,398	654,029
非支配株主に係る四半期包括利益	21,994	32,156

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	778,614	747,549
減価償却費	271,863	260,454
長期前払費用償却額	1,211	283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	433	△540
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,446	1,923
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	280
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,046	9,363
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,247	△3,878
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,865	10,557
受取利息及び受取配当金	△61,040	△67,155
支払利息	7,323	5,163
固定資産除却損	346	204
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	11,133
売上債権の増減額 (△は増加)	△267,284	534,144
たな卸資産の増減額 (△は増加)	64,232	37,871
仕入債務の増減額 (△は減少)	587,027	△853,271
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	823	△5,326
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△48,306	△35,625
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	91,200	45,961
その他	△1,765	△8,966
小計	1,434,897	690,124
利息及び配当金の受取額	61,040	67,155
利息の支払額	△7,257	△4,891
法人税等の支払額	△224,048	△233,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,264,632	518,758
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△231,284	△301,288
定期預金の払戻による収入	231,282	301,286
有形固定資産の取得による支出	△116,147	△200,455
無形固定資産の取得による支出	-	△11,140
投資有価証券の取得による支出	△8,003	△8,325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,153	△219,923

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△491,300	△438,000
長期借入金の返済による支出	△8,000	△1,000
配当金の支払額	△84,360	△93,240
非支配株主への配当金の支払額	△4,120	△4,370
その他	-	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△587,780	△537,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,818	26,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	530,879	△212,874
現金及び現金同等物の期首残高	5,733,548	6,643,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,264,427	6,430,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,853,214	1,724,801	1,126,196	132,153	9,836,365	958,222	10,794,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,853,214	1,724,801	1,126,196	132,153	9,836,365	958,222	10,794,588
セグメント利益	665,625	61,983	18,428	78,394	824,431	63,835	888,266

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	824,431
「その他」の区分の利益	63,835
全社費用(注)	△177,592
四半期連結損益計算書の営業利益	710,674

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,920,716	1,808,658	1,089,150	129,089	9,947,615	949,792	10,897,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,920,716	1,808,658	1,089,150	129,089	9,947,615	949,792	10,897,408
セグメント利益	659,959	85,467	5,913	69,752	821,092	55,541	876,634

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	821,092
「その他」の区分の利益	55,541
全社費用(注)	△188,104
四半期連結損益計算書の営業利益	688,529

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。